

プロッコリーの育苗時に食塩水を灌水すると 苗が乾燥に強くなり収穫も揃う プロッコリーの収穫斉一化

福島県農業総合センター 浜地域研究所
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - プロッコリー - 育苗
分類コード 03-25-06000000

2 担当者

常盤秀夫

3 要旨

プロッコリーのセル育苗において、定植前1週間より、食塩水(NaCl濃度0.3%)を灌水すると、苗の耐干性が高まり、乾燥条件下で定植した場合でも、初期生育や収穫の斉一性が高まることがわかった。

- (1) 定植適期苗への灌水を中止した場合、事前に食塩水を1週間灌水した苗は、通常の苗より萎れるのが2日程度遅くなった。
- (2) 通常の苗を乾燥した畑に定植すると、初期生育(定植2週間後)にばらつきが生じたが、食塩水を灌水した苗では揃いが良くなった。
- (3) また、通常の苗では収穫日のばらつきが大きかったが、食塩水を灌水した苗では揃いが良くなった。
- (4) 苗に食塩水を灌水した場合でも、収量は通常の苗と同等か、それ以上であった。
- (5) 苗に食塩水を灌水すると、苗の子葉が黄化したり落葉が見られることがあったが、定植後の生育に悪影響は無かった。

4 その他の資料等

なし